



Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363
 例会日 毎週月曜日 12時30分 於海南商工会議所 4 F ホール
 会長 前窪紀文 幹事 田岡啓一 会報委員長 河尻鳩親

第24回 例会 昭和51年1月12日(月) 於海南商工会議所

1. 開会司会 谷井昭三
2. ローターソング [奉仕の理想]
3. 昼食
4. ゲスト 紀陽銀行調査部次長 安田哲也氏
5. ビジター 橋本次朗氏(御坊R. C.)、上野嘉一氏(和歌山東南R. C.)
和佐勝氏、沢秀雄氏、中野利生氏(海南R. C.)
6. 出席率 80% 会員総数 25名 出席者数 20名
7. 会長報告

- この間の家族会、多数おいで下さり大変盛会でした。感謝いたします。
- ガバナー事務所から、クラブ計画及び目標の要約、公式訪問の際、地区ガバナーと検討したい問題や質疑事項を簡単に述べて下さいという項目がありますので皆様方で質問があれば質問の要旨をかいて私の方までお知らせ願います。

8. 幹事報告

- 例会・時間・場所の臨時変更通知
海南R. C. の1月21日(水)の例会が新年会のため、午後5時30分から美登利で行うことに変更。
- 本日、午後7時30分から8時30分まで理事会を、海南商工会議所3F第一会議室にて開催します。
- 先般からお願いしていました、活動報告書につきまして皆さまの御協力を得まして一応全部届きましたので、早速印刷物として作成したいと思います。御協力頂いた事を厚く御礼申し上げます。

9. 委員会報告

親睦委員長 中尾公彦

○ 親睦ゴルフについて

海南東 R. C. ゴルフコンペを来る1月18日(日)に国木原カントリークラブで行ないます。後程、出席者の確認をしたいと思ひます氏名を書いて、まわして頂きたいと思ひます。

○ 2月22日(日)の串本 R. C. 認証状伝達式、未登録の方は是非共登録少々参加して頂きたいと思ひます、御夫婦で参加して頂く方も御座いましたら、どうか遠慮なく御参加願ひたいと思ひます。

10 卓話

安田哲也氏 紀陽銀行調査部次長

“ 本年度の経済見通しについて ”

㊦ 現在の経済状況は非常に容易ならざる事態になっているのではなからうか。今年の正月3日間、快晴が続きましたが天気にとえて、景気概況はどうなるかと申しますと、新聞、雑誌等では後半、晴となっていますが、後半寧ろ正月天気が好すぎたので曇りが続いて、ところによっては、にわか雨に或いは雷雨があつてショック死という事態が起りかねないのではなからうか。決して楽観は出来ないとお考へ頂いてよろしいのではないか。

㊦ 御承知の様に48年10月から石油ショック、それから狂乱物価でインフレが激化し、そして金融引締政策が長く続き、昨年の後半からは金融緩和状態になっていますが不況の長期化、深刻化、国際収支の悪化ということで現在、三重苦の事態で、経済が肺炎症状を起しているのではないのでしょうか？

㊦ 物価は昨年1月～3月の時点で一応鎮静をしたということで、卸売物価、小売物価とも安定している、そして生産等は昨年1月、2月を底に3月から上昇している。

㊦ 国際収支は当初、昨年の赤字は134億ドル位になるのではなからうかといわれていたのが100億ドル改善されて、34億ドルの赤字にとどまり、昨年末の外貨準備高は128億ドルをきった状態になっているわけですが、これはペニシリン療法で肺炎の進行を食い止めただけで現在心臓衰弱を起す寸前まで来ているのではないか、というのが経済の実態ではなからうかと思ひます。日本経済の立直りについては、全治3ヶ年かゝるといふことで、既に2年目になっていて51年中はかゝるといわれています。

㊦ 現在の経済情勢は需給ギャップが15%ないし20%、操業率は70%から80%、稼働率指数(政府発表)は最近では84まで上っていたが11月は83まで下っている、最底77まで下ったこともありました。

企業の実態から考えて見ますとコストは上る一方で、それを製品価格に転嫁出来ない、上場会社の3社に1社は赤字の状態、黒字を出している会社も果して黒を出しているのかどうか？

決算処理によって土地を売ったり、遊休不動産を処分したりして僅かに黒を出している、まともな黒字会社は数える程しかないのが現在の状況ではなかろうか。軒並み赤字ということから心臓病だという表現を使わせてもらったわけです。

㊦ 倒産件数を見ましても9月から11月につきましても連続1千件以上の倒産を記録している、10月に戦後最高を記録して11月は又々その記録を更新している、現在の実態は容易ならざるものがある。

㊧ 第4次不況対策が財政特例法の国会通過が遅れまして、年末になって不況対策の効果の浸透というのは、これからの入札、契約、工事の着工ということを見ると4月以降、新会計年度にならないと不況対策の効果が上ってこない。又、第5次不況対策云々ということが年末に既にいわれていますが第5次不況対策の性格を刻した新年度予算、これが、年末に政府原案が本決まりになり、4月から執行されるが、実際は7月以降でないとは動いて行かないのではないか？

㊨ 51年度、政府は5.6%の実質経済成長率ということを見込んでいるしかし、とても達成出来ない数字ではないだろうか？

民間設備が冷え込んでいる、個人消費が果してどの程度上るか、ということも、いろいろ強気弱気予想が別れていて上る予想がつきにくい。在庫状況は食料品、タバコ工業だけが適正在庫水準で、木材、繊維にしても在庫水準が非常に高い、全国でマンションが4万戸売れ残っている、東京都だけで1万6千戸位の分譲マンションが売れ残っている。首都圏の住宅産業の月々のマンションの消化具合からみると、在庫率8ヶ月位になり、全産業中最高である。政府が今年、住宅対策を推進しても有効需要が果してどれだけ出るか？

本年は経済政策によって好況感なき景気回復という課程を進むだろう

㊩ 失業者についても100万人から130万人を上下するであろう。それだけ失業者があって企業が儲けられない実態を考えた場合、春のベース・アップがどの程度になるか、日経連も今年はガイドラインを出さない、0~10%の間で鉄鋼労連がこれだけ上ったから合化労連はこうだ、全織がどうだということは、全国的に一律の上昇力は、とても望めないだろう。地域的に差が出てくる、同業間でも支払い能力の範囲内、という厳しい線が出るのではないか。

㊪ 個人消費がどの程度上るか、先の生活の安定、或は希望、どれだけ上るといふ希望があれば耐久消費財も買うだろう、見通しのつかない現段階で回復力が弱く、成長率に対する寄子率が弱い

あとは輸出や設備投資に頼るしかない、設備投資は企業の採算がわるいので、前向きに進まれる方が少ない、輸出も仲々伸びない実態、他立的な要因にかけているだけで、先行、非常に厳しいものがある。
寧ろ、そういう点で成長率を云々するよりも、中身の充実、量よりは質である、ということを実態にお考えになって、その対策を立てられる必要があるのではなからうか。厳しい実態に合わせて体質改善が焦眉の急である。

ロータリーの友 1月号より

早退防止への私見 熊本南 杉田辰彦

早退防止という課題はどのクラブにおいても頭痛の種であり、又その対策の強行は一種のタブーであった様に想像されるが、私には早退防止やこれを取り巻くいろいろなことは、集会に対する社会人としての、マナーという一般概念で解決できるのではなからうかと思う。しかし、例会時間の $\frac{1}{2}$ を占める卓話者がそこに介在するに及んでは、また別の考え方を持たなければならぬように思われる。

手続要覧の〔所定時間の少くとも60%在席した事実を出席と認める〕ということは、卓話者に対するマナーということを一義に考えた場合或いはまた、プログラム委員長をはじめ各委員のなみなみならぬ努力や自分の業務を或る程度犠牲にしてまでの善意の行為に思いをいたした場合この出席保全の事項というものは、一つの自慰行為と成り下ってしまうようにも思われてくる。

次に早退者側について考えてみると、早退の理由はいろいろ挙げられる様だ。疾病やアクシデント然り。また事業に影響を持つ万止むをえない重要な会合、連絡業務など次々と浮んでくる。当クラブでは、新年度以降、早退者のクラブ名、氏名と共にその理由を備え付けの用紙に記載して頂く様になっている。早退の理由の中で〔会議出席の為〕……

（おそらく緊急のものであろう）が断然首位を占めていることは、最近の経済事情からみても一応皆が理解出来るところである。そして卓話者をはじめ会長、幹事、SAAに対しても何となく済まなく、肩身を狭くした気持でおられる事が、早退者の後姿にありありと認められる思いがする。私が申し上げたい事は、社会人としてのマナーを延長して、出来ることなら早退理由を用紙に記載するだけでなく、会長、幹事又はSAA何れかに事前に連絡していただくなり、或いは卓話者に〔今日は貴下の有益な卓話をこれこれの事情で拝聴できないのは残念です〕と云った意味の挨拶がなされるならば、卓話者もロータリアンのマナーに或いはロータリークラブそのものについて、認識を新たにすることもあるのではないかと考える。

要はマナーの活用であり、下世話にいう〔要領〕の利用ではなかろうかと思う。私には他に良い智恵とてもないが、メイキャップの活用の外会議、会合の予定時間を例会日に限り、僅かばかりスライドさせる配慮をして頂くだけで、肩身を狭くして例会場を早退される時の、あの一寸ばかりイヤな気分を感じないで済むのではないか、と私なりに考えてみたりする昨今である。（熊本県・ホテル）

◎ 次回例会

第25回 昭和51年1月19日（月） 於海南商工会議所
ゲスト 海南商工会議所会頭 中野利生氏（海南R. C.）

○ 戦後の教育の歩みについて

第26回 昭和51年1月26日（月） 於海南商工会議所

